

「会員交流バス旅行記」

ヘアサロンシミズ/cosme通販 代表 ^{しみず}清水 ^{かすお}一雄



住 所: 加古川市尾上町口里770-1
T E L: 079-421-1138
営業内容: 理容全般・化粧品通販

令和4年6月20日、梅雨の合間の月曜日、コロナ自粛で本当に久しぶりの機会に恵まれ、加古川商工会議所恒例のバスツアーに私たち夫婦と娘二人で参加させていただいた。大型バスの定員半数以下の人数とまだまだ「解禁」とはいかない気の使い方、「採算取れるのかな・・・」なんて、いらぬ心配までして。会議所玄関前を出発したバスは何度も通ったはずの明石

海峡大橋を少し懐かしい思いで通過、玉ねぎの収穫さなかの淡路島を縦断して最初の目的地大鳴門橋へ。

「渦の道」は、鳴門公園内にあり、雄大な鳴門海峡を左右に眺めながら海上45メートルを散歩をするもの。少々バス到着地点から歩くものの、最初の目的地で疲れもなく余裕があったのは、コース配分の絶妙さだったかもしれない。実は、巣ごもりのせいもあってか長距離の歩行コースはちょっと心配していたところ・・・。残念だったのは期待していた潮目には少し早かったのか、壮大な渦を観ることはできなかつた。しかし、海面から陸上への霧の流れは予想外の景色で一幅の絵画を観る様で美しかった。

次の目的地は取って返して洲本の会員制ホテル「エクシブ淡路島」での昼食。さすがと思わせるオシャレで豪華でおいしいランチ。食事会場が地下とというのがちょっと惜しい。外の海や、眼下のヨットハーバーが望める会場なら・・・というのは欲、というものが次の散策地は「伊弉諾（いざなぎ）

神宮」の自由散策。淡路島は子供の幼い頃や、近くは孫を伴っても何度も訪れていたのにこんな立派な神宮があったのは知らなかった。『古事記』『日本書紀』の冒頭の国生みの神話は何となくですが聞き覚えがあるので・・・。

最後の目的地は「パルシェ香りの館」での「ハーバリウムづくり」を体験。ちょうどラベンターの季節と重なりお花畑はとりどりのハーブで満開。最終コースとあってラベンター畑を散策する余力はありませんでしたが、おいしいアイスクリームを満喫。「ラベンターおじさん」のお見送りをいただきたい帰路につきました。淡路島のお土産の総仕上げは「ハイウェイオアシス」、何回か訪れたことのある淡路島の玄関口なのに建物、設備が進化して目新しいのには驚いた。あそことあそこ・・・おみやげ、おみやげ・・・といったところで帰途につきました。ガイドさんはもちろん、添乗の職員さんもたいへんお疲れさまでした。次の企画を楽しみにしています。